

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2025年5月20日実施】

学校関係者評価委員集約資料

2025年度自己点検自己評価(2024年4月1日～2025年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評 価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
1 教育 理 念 ・ 目 的 ・ 育 成 人 材 像	1 理念・目的・育成人材像	2	ミッションと理念に基づいて、時代、業界の変化に対応した事業計画に沿って毎年学校運営を行っている。事業計画で考える中期計画は、学校の未来を表現したものであり、そこで考えられた組織目的、運営方針、実行方針、実行計画が学校の成長につながってきた。 また理念、経営者の言葉、学校の考え方や組織文化を、組織内に浸透させるとともに、新たに組織に入ってくる人にも外部にもわかりやすく示していくことかなりの力を注いでいる。このことが、学園、学校の活性化につながっていると考える。 職員に対して、これまで以上に理念等の浸透には注力する必要がある、また学生にも同様に伝えていく必要がある。 今後さらに学生保護者、業界、地域、高校の4つの信頼の信頼を得られるよう、学内外での活発な活動を行う。	業界の変化に対応するため、育成人材の見直しは、常にかつ組織的に行われなければならない。本校では、その専門職として、ファカルティ・ディベロップメント・コーディネーター(※)を置き、育成人材像から学科の教育内容の見直しを行っている。 ※ファカルティ・ディベロップメント・コーディネーター(FDC) 専門学校における教育の構成要素 ①養成目的と教育目標(社会ニーズと卒業時到達目標) ②目標達成プロセス(カリキュラム・学年歴・時間割・シラバス・コマシラバス) ③目標達成素材(教科書・教材・教育技法) ④目標達成支援人材(担任・専任教員・講師) ⑤評価基準(透明性・公平性・競争性)を学校・学科の独自性・有効性に役立つように改革する核となる人材。 業界連携の際には理念、教育の考え方を伝えた上で、ご協力をいただいている。	2	美容業界の代表者の方達と積極的に交流を図り日々進化している。学生と保護者が学校に求めることに相違がないように検討していく努力をさらにされると良い。 教育理念、目的、養成人材像におけるベルエポック美容専門学校の取り組みは多岐に渡り、また細部に渡りシステムとして構築され実施されている。 会議でもお伝えした、卒業後のサポート及び追跡をお願いしたい。
2 学 校 運 営	2 運営方針	3	法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重要視しており、事業計画・運営方針を定めている。 明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。理念、方針の浸透を深めるため、各種の研修(教職員・講師)、会議(運営会議・学科会議・課別会議等)で行い、全教員が納得して学校運営に携わる環境作りをしている。このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。常に市場ニーズに対応した事業計画・運営方針をこれからも作成するよう努める。	学校運営をマネジメントシステムの準備(計画)と実行として捉え、マネジメントスキル、知識、そしてリーダーとしての研修を重視している。マネージャーは組織運営者であることを前提としている。 年度当初には1週間の研修期間を設け、運営方針、事業計画について共有する場を設けている。 また、経歴の浅い教職員が多いため、毎月1回の全体会議で教務研修を実施し学園・学校の理念周知の為の研修を実施するとともに、OJTやONOを通して、実践的に行っていく。	3	学生一人一人に対して、しっかり管理されている。教員間での協議を適切に行っているので、適切な運営に繋がっている。 学校運営において教職員の方々の働き方と待遇は重要なポイントとなっている。学校が目指す目標において教職員の力は大きいと思う。
	3 事業計画	3	法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重要視している。その意識で毎年、法人として事業計画・運営方針を作成している。事業計画を立てること、運営方針を定めることは、常に同時に考え、実践している。明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。	事業計画を教職員が自立的に計画し決定し全員で共有する。その上で職場運営が実行に移されていく。 その運営のチェック機能として、①学園の常務会議、②学校ごとの戦略会議(運営責任者会議)、③運営会議(学科責任者会議)、④学科会議、部署会議があり、計画遂行の確認をする。問題点を早期に発見し、対策を立て、実行するプロセスを確立している。		
	4 組織運営	3	理事会、評議員会を定期的に開催し、必要な審議について議決を行っている。学内の意思決定に関しては、重要事項の優先順位と対応する機関が明確である。 毎年事業計画策定という厳しい作業があることで、目標志向性の高い組織運営が行われている。	理事会、評議会、議事録作成、寄付行為は、法人が運営する複数の学校と連携し、合理的に作成、管理する。 会議については下記2点を重視している。 ①会議の進行ルール ②議題発信と議事録配布・保管のルール		
	5 人事・給与制度	2	採用計画、人材育成計画は事業計画で定められている。 採用にあたっては、学園本部が中心となり、採用広報や、採用試験を実施している。採用は採用基準の基、厳正に実施している。その後の教職員の育成には、もっとも力を入れている。目標管理制度を基本とし、これと対応して成果主義を取り入れた賞金制度を設けている。多様化してる働き方の中で、より一層、それらに対応した制度が必要。	数字目標を達成する過程の業務や、数字だけでは評価できない業務は情意効果として評価している。 目標は常に、健全な学校運営・学科運営を実現できているかという視点で立て、評価も公平に行い、学校・学科の成長と教職員の成長に結びつくようにしているマネジメント職と専門職での人事制度を構築中である。		
	6 意思決定システム	3	意思決定システムは事業計画において明文化している。意思決定を行う会議の進め方、結果の取り扱いを重視している。 また会議毎に参加者は選抜され、その中で各リーダーに権限は委譲されている。	会議は 1. 法人理事会・評議員会 最高決議機関 2. 学校戦略会議 運営方針の起案会議 3. 法人学校運営会議 運営方針の問題を発見・対策立て会議 4. 運営会議 学校の目標達成に向け、発生する問題解決会議 5. 学校全体会議 決定事項の周知、教務研修の実施 6. 学校学科会議・部署会議 部署の問題解決会議 7. グループ各委員会会議(広報委員会・総務人事委員会・就職委員会・国家試験対策委員会・学科別教育研究委員会)		
	7 情報システム	2	業務効率化は進んでおり、職員の残業時間も年々減っている。 システムを導入し効率化を図っている。 効率化された部分は学生対応に充てられている。	便利になった部分も多いが、様々なシステムで状況共有、業務効率、管理を行っているが、今後データの一元化が課題であり、学校、法人として取り組む必要がある。		

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2025年5月20日実施】

学校関係者評価委員集約資料

2025年度自己点検自己評価(2024年4月1日～2025年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評 価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
3 教育活動	8 目標の設定	3	教育指導要領に基づき、学園の教育理念に沿った教育を実施している。 教育課程編成委員会のご意見を基に毎年カリキュラム更新も行っている。	学科の特性を加味し、毎年見直しを行い、養成目的、教育目標を明示している。	3	
	9 教育方法・評価等	2	養成目的・教育目標を明確にした人材育成を行っている。 今後はキャリア教育やクラス形成に力を入れて、目的意識喪失による退学防止などにも反映していきたい。職業観の植え付けが重要である。	養成目的 教育目標 担任マニュアル 学生サポートブック クラス事業計画		
	10 成績評価・単位認定等	3	成績評価・単位認定については、教育指導要領と学生便覧に明記している。 それらに基づき、評価・認定を行っている。 また実技授業などの評価に関しては、点数配分を可視化や、ルーブリック評価を用いる等で明確化に努めている。	教育指導要領 学生便覧		
	11 資格・免許取得の指導体制	3	資格取得に向けては、全員現役合格をさせるために低学力・低技術者のフォローをどのようにやっていくかがポイントになる。国家試験不合格者については国家試験受験をサポートしている。どの資格においても不合格者のモチベーションが課題となっている。	再支援プログラム 学園の国家試験対策センターや 姉妹校と合同模試を実施など、対策、検証を行い、合格に向け支援している。		
	12 教員・教員組織	2	法律に則った教員配置はできている。教授力の低い講師は高い講師とOJTを組み教授力向上に努めている。教員と講師でしっかり連携を取り、教育向上に努めている。	講師会議 学科ごとの科目連絡会		
4 学修成果	13 就職率	2	就職率は、学科ごとに目標を設定しており、「就職活動状況表」のデータで学生一人ひとりの状況を確認している。入学後から業界研究、就職講座として、職業理解を深めるために、業界から講師を招いてを定期的に特別授業を開催。学内説明会も積極的に実施中。データはキャリアセンターが管理。採用活動の早期化により、就職活動の準備が前倒しになってきている。また、コロナ禍、デジタル化により採用試験内容も動画やオンラインと変化してきており、対応した支援が必須となっている。	採用活動の早期化が伺える。美容業界では、特に、美容部員・エステティシャン・美容師がその対象で、早期インターンシップ等も行う企業が増えている。通常6月以降が主な採用活動時期であったが、現在では早い企業で3月中に選考を行う企業も増えている。売り手市場ではあるが、人気がある企業への志望が多いので、これまでの実績からそれぞれにあった支援を行っている。	2	就職率100%のために、学校を挙げて努力されている。模擬面接などの導入も就職活動への力になっている。教職員が学生に寄り添い支援していることがよくわかりました。 学校運営、教育方針や学生へのケアも素晴らしいが、学修成果が思っているより低いのは改善の余地ありと判断すべきか、目標が高すぎるのではないか？ 各学科それぞれおデーター算出をしてみて頂きたい。
	14 資格・免許の取得率	2	定期的に模擬試験を開催し低技術、低学力者に対して早い段階で補習授業を開講している。合格率については全国平均と比較している。学科により多種多様な資格取得を目指す、全員合格できていない現実がある。専門学校で「資格」は大きな意味合いを持つので、合格率向上に努める必要がある。	【美容師科】 美容師免許に関しては教育目標内にて規定を掲げている。特別講座に関しては着付けやネイルなどの資格取得は選択制になっている。 【トータルビューティ科】 コースごとに取得目標資格を明確化し、その資格と職種の結びつきを授業内で説明している。 【ヘアメイク科】 着付けやメイク検定に関してはカリキュラム上で位置づけている。そのほかの資格に関しては選択制をとっている。		
	15 卒業生の社会的評価	2	近年では、独立した卒業生も多く、美容業界の発展、若手育成に力を入れている卒業生が増えてきている。また、美容の職業に不可欠となってきたSNSにより、卒業後1～2年で話題の美容師として活躍している卒業生も多数でてきている。 学校としてはそういった卒業生の支援を強化していきたい。	・入学案内の卒業生ページへの掲載 ・美容専門誌:チエキチヨキ × ベルエポック美容専門学校の発行 ・卒業生による特別授業 ・同窓会の実施		

学校関係者評価委員集約資料

2025年度自己点検自己評価(2024年4月1日～2025年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評 価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
5 学 生 支 援	16 就職等進路	3	就職支援の指標として、就職内定率と合格率があるが、年々上昇してきている。 SNSからの採用エントリーや、動画での自己PRなど入学時からの指導が重要となっ てきている。	受験した学生が記入している「採用試験報告書」を取りまとめ、年度の傾向と対策を 授業内で実施している。また学生が閲覧しやすいシステムを構築。	3	卒業後の進路支援システムがあると知らなかった。2年間通い取 得した国家資格を無駄にしてしまう学生が少なくない様なので、卒 業後の離職状況や、ネットワークを継続的にもつよにし在校生の 就職支援に生かして頂きたい。 一番学生に近い項目が優れている。3の評価が多くなりほど素晴 らしい学校といえる。
	17 中途退学への対応	2	2024年度中途退学率は昨年より減少した。 早期にクラスに対する適応不全が発生したケースが見受けられた。 そのフォロー体制や、集団に対する支援の授業を強化していく。	人間関係構築に苦戦する学生が多い。 スクールカウンセラーの利用者が少ない。 早期の適応不全に対するアプローチの強化が必要。		
	18 学生相談	2	学生の各種相談に対応できる体制を整えている。学生の相談内容が広域になり対 応の際に専門的知識を伴うケースが多いため、スクールカウンセラーや留学生担当 の職員の配置など対応できるようにしている。	SSC(スチューデント・サービス・センター)と連携をして学園として学生相談室を設 置しているが、利用率が低いため、積極的に利用を促す。 留学生担当教員も設けている。		
	19 学生生活	3	奨学金利用や健康管理、学生寮、サークル活動などを学生の生活支援の一環とし て実施している。養成像との直接の関わりはないが、美容分野への就学の機会や 学校への帰属意識、学科・学年を超えた関係性の構築となり中途退学の抑止につ ながっていると思われる。	公的奨学金(日本学生支援機構・東京都育英資金) 医療機関 一人暮らしセミナー サークル活動		
	20 保護者との連携	2	学校として積極的に保護者とのかかわりに努めている。しかし学校について関心を 持たない保護者に対してのアプローチをどのようにするかが大きな課題となっており、 中途退学率にも影響している。	保護者会等も実施しているが、左記に記載しているような保護者の参加が見込めて いない。		
	21 卒業生・社会人	2	卒業生に対する支援体制は同窓会と就職サポートの2点になる。卒業生に対して は、モデルの協力や施設の貸出しなどを提供することで、卒業生のキャリア開発の 一環を担っている。また同窓会組織を活性化して、卒業生に対するリカレント教育の 場を提供していきたい。	滋慶学園グループとして、多くの職種を育成しているため、美容以外の分野につい ても学び直すことが可能。		
6 教 育 環 境	22 施設・設備等	2	実習授業に力を入れている本校にとって、学内実習室が実際の現場で使われてい る設備を揃えていることが、必要不可欠である。実践教育のための学内施設、設備 は整備されていると考えている。 各教室、実習室は、各種の申請に必要な条件を全てそろえた環境として、承諾を得 ている。	経年劣化の破損頻発箇所について修繕を実施。 経年劣化した備品については更新をしている。 定期に点検、メンテナンスを行っている。	3	美容・ファッション・流行に敏感な原宿で学べる事は素晴らしいと思 います。
	23 学外実習、インターンシップ等	3	現場経験ができる実習は積極的に実施している。より多くの学生が参加するような 教育フローを構築していきたい。	今以上に学外で実習できる環境を強化して、多くの学生が参加できる体制の構築。		
	24 防災・安全管理	2	防災、火災訓練を実施し、学生、教職員、講師へ非難手順や方法を指示し実施して いる。 救急時における知識の習得と意識付けは出来ている。 職員向けに消防訓練や防水板設置の講習を行っている。 AEDを各校舎に設置し使用方法の研修を職員間で行った。	・防災訓練実施。 ・設備、備蓄の点検。		
7 学 生 入 の れ 募 集 と 受 け	25 学生募集活動	2	学生募集活動は、学則を基に、その年の入学案内、募集要項の通りに適正に行わ れていると考えている。	顧客となる「原宿が好き、美容が好き、ファッションが好き」の高校生を対象に、その 顧客にあった価値を提供している。(価値：原宿コラボレーション) 授業内容や体験授業でその体験化を図り、入学前教育として職業の理解を深めて もらえるように努め、HPやスマホ、SNSなどで多くの人に見てもらえるように情報発 信に注力している。	3	オープンキャンパス、学校紹介などのSNSでの発信はとても素晴ら しい。高校生への説明に在校生も説明者としてさんかしてもらえれ ばより良いと感じた。オープンキャンパスでも原宿ならではのイベ ントに体験できたりと学生がイキイキしている姿が拝見でき入学し たら？の創造がしやすく良かった。
	26 入学選考	3	入学選考の基準は明確に定められ、適正に入学選考が行われている。 入学者数の予測を踏まえ、財務を考えている。	AO、高校推薦、一般と志願者に合わせた選考を適正に行っている。		
	27 学納金	3	学納金については算定の内容を明確にしておりかつ毎年見直しを行い決定してい る。入学辞退者の授業料の扱いも文部科学省の通知趣旨に則って行っている。	入学金、授業料、諸費用を分けて学費徴収することで、教科書・教材費に関して無 駄な費用請求を無くしている。 入学辞退者に関して3月31日までの申請に関しては、授業料を受験生に返還してい る。		

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2025年5月20日実施】

学校関係者評価委員集約資料

2025年度自己点検自己評価(2024年4月1日～2025年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評 価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
8 財 務	28 財務基盤	3	短期・中期・長期の収支計画を立て財務状況の健全維持に努めている。収支・キャッシュフローの状況についても適宜確認できるようになっている。 学外に学校会計を担う株式会社があり財務面での処理については中立公正の立場で会計処理を実施しているので不正行為も未然に防げるようになっている。	学校法人東京滋慶学園財務諸表	3	堅実に行われていると感じた。
	29 予算・収支計画	3	厳しいチェック及び評価が行われ、いわゆる債務超過になったり、資金不足になったりする状況にはなっていない。そのため、中長期的には財務基盤は安定し、本校の学校運営も安定していると考えている。 5ヵ年計画に基づいた収支計画は中長期的な視点で物事を考えることができるため、財務基盤の安定に資するための大規模な計画もじっくりと立てることができ、この方針は今後も続けていくと考えている。	本部による財務状況のチェックを毎月受けている。また監事及び公認会計士による監査、行政への報告などを行っている。		
	30 監査	3	現在のところ、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成していると考える。 監査を有効に実施してもらうために、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。	私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けているが、それに加えて、補助金対象ではない当学校において「公認会計士による監査」も受けている。これによって適正な計算書類の作成とその信頼性の確保に努力している。		
	31 財務情報の公開	3	学園の特徴は、法改正の変化に迅速に対応できる機動力である。今後ともどんな法改正にも迅速に対応していくと考えている。	「財務情報公開規程」「情報公開マニュアル」によって、秩序整然たる順序に基づいて情報公開に対処している点が特徴として挙げることができる。		
9 法 令 等 の 遵 守	32 関係法令、設置基準等の遵守	2	法令や設置基準の遵守に対する方針は文章化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作り平成18年度で完全に整備させた。 また、教職員の啓蒙として、法令や設置基準を遵守に対する教育または研修を、定期的に実施している。	監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている。	2	堅実に行われていると感じた。
	33 個人情報保護	2	社会的にも個人情報流出のニュースが目立ち、必然的に学園主導ではあるが個人情報の取り扱いの意識向上につながった。 また、個人情報の取り扱いに関する情報整理やルールの策定、職員の研修などを整備したことにより管理の透明性を図ることができた。	個人情報管理シート CPA研修 CPO研修 TRUSTe 学内でも定期的な研修等の実施が必要。また法令の変更等の対応も必須。		
	34 学校評価	3	学校評価は適切な手順・方法で実施をされており、評価結果についても学校情報の一部として公開をしている。	HPIにて情報公開している		
	35 教育情報の公開	3	自己点検・自己評価の結果を学校情報としてホームページ上に公開している。情報公開という点では公開手段は現社会情勢に合った方法をとっており、実施内容は問題ないと考えている。	学校ホームページに下記情報を掲示している。 ・学校情報:トップページよりリンク ・職業実践専門課程:トップページよりリンク「別紙様式4」への導線を敷いている。		
1 0 社 会 貢 献 ・ 地 域 貢 献	36 社会貢献・地域貢献	2	学園で掲げる4つの信頼に「地域の信頼」がある。また、学校特徴して「原宿がキャンパス」と掲げている、そのため、原宿の地域貢献、地域発展には積極的な活動を行っている。今後は、さらに地域に根付いた社会貢献を行っていきたい。	原宿コラボレーション	2	地域貢献は一見面倒で大変だがベルエポックから原宿って素晴らしい しい又は、色々な情報が発信できてこれまでのように影響力のある学生たちに幅広く知っていただける学校になればいいと感じる。 地域の中でベルエポックの名前が上がってくるようになればかなり地域に浸透していると言えます。その声はまだ聞こえてないので頑張る予知が大きい。委員として援助したい。
	37 ボランティア活動	2	現状定期的な地域清掃や小学校やコミュニティセンターイベントへの参加をしている。地域の施設等での活動も積極的に行っていきたい。	定期的な地域清掃 小学校でのイベント参加 地域コミュニティセンターイベント等での美容施術での貢献		